

「うたげの会」第9回企画

フォーラム「3・11以後の歌と語りを考える」

出演 赤坂憲雄 佐々木幹郎 藤井貞和

日時 2014年2月11日(水) 18:30開場、19:00開演

場所 新宿文化センター・和室会議室

予約・問い合わせ utg0311@gmail.com

「うたげの会」は、3・11以後の歌と語りを考えるという趣旨で、2011年4月、東日本大震災から1カ月後に、赤坂憲雄、川田順造、佐々木幹郎、樋口良澄、兵藤裕己、藤井貞和、山本ひろ子の7名が発起人となって設立されました。

被災地の東北に向き合い、毎回テーマを決めてイベントを企画し、この2年半で、今回を含めて8回のイベントを開催してきました。

- 第1回 2011年10月2日「琵琶物語と琵琶歌のうたげ」(後藤幸浩+片山旭星)
- 第2回 2012年1月8日「語り芝居・泉鏡花作『眉かくしの霊』」(鳥山昌克)
- 第3回 2012年3月17日「東北を歌う―津軽三味線の世界」(二代目高橋竹山)
- 第4回 2012年6月3日「詩の生まれる場所」(入澤康夫)
- 第5回 2012年8月24日「納涼落語の夕べ『死神』」(柳家小満ん)
- 第6回 2013年2月13日「災間を生きる〈うた〉と〈ことば〉」(赤坂憲雄×佐々木幹郎)
- 第7回 2013年10月3日「撃つ、歩く、廻す―韓国伝統芸能のうたげ」(ミン・ヨンチ)
- 第8回 2013年12月1日「浄瑠璃を歌う、文楽を語る―『曾根崎心中』の世界」(豊竹睦大夫+豊澤龍爾)

ふり返ってみますと、どの企画にも「死者」がテーマになっていたことに気づかされます。それは「歌」と「語り」が「死者」への鎮魂を基層としていることにつながっていたからとも言えるでしょう。

次回の第9回企画は、東日本大震災から3年目を迎えた2014年2月11日(水)に開きます。3・11の記憶を忘れようとしている日本に抗して、これまでのイベントをふり返り、いま何を語るべきか、何を考えるべきかを、徹底的に討論します。第6回企画で赤坂憲雄×佐々木幹郎の対談をやりましたが、今回はそのとき参加できなかった藤井貞和を交えたフォーラムです。「うたげの会」の発起人一同も討論に参加します。車座となった和室の空間で、どうぞ、ご来場の皆様からも討論に参加していただければ幸いです。お待ちしております。

(文責/第9回企画者・佐々木幹郎)